

線材圧延作業上の二、三の実験的考察。原田利夫…  
1713~1723

線材々質におよぼす圧延方式の影響。大竹 正, 他…  
1724~1734

#### 富士製鉄技報 6 (1957) 4

コークス比におよぼす送風温度の影響について。沢村  
惇, 他…367~372

広畑熔鉱炉の第4次改修について。楠野桂三…373~  
386

平炉製鋼過程における鋼中窒素の挙動。伊藤幸良, 他  
…387~397

セミキルド鋼厚板のパイプにおよぼす製鋼均熱各作業  
条件の影響について。野田郁也, 他…398~411

#### 住友金属 9 (1957) 3

低炭素キルド鋼のオーステナイト結晶粒の調整につい  
て。田上豊助…140~142

ピアサーにおける材料の Metal Flow。三瀬真作, 他…  
…143~157

#### 日立評論 39 (1957) 11

JIS 耐熱鋼 SEH 1, SEH 2 および SEH 3 の熱処理  
と高温強度について。小柴定雄, 他…1322~1326

三带式均熱連続加熱炉の設計と実際。吹野晋策, 他…

#### ベアリングエンジニア 6 (1957) 2

軸受鋼焼入状態の強さの考察 (2) (3)。室 博…839~  
~851

## — 特 許 記 事 —

最近の製鉄鋼業界に於ける発明

- | 公告番号      | 発 明 の 名 称  | (発明者) 出願人       |
|-----------|--|-----------------|
| 昭 32-9054 | 殊にラテライト状の鉄鉱からケム少き鋼を製造する方法<br>ウエスファアレンヒュッテ・アクチエンゲゼルシャット (独)   | (ウィルヘルム・ウォルフ外1) |
|           | クロムを含有するラテライト状鉄鉱を高炉中で溶解しその銑を通常の平炉又は転炉製錬法により精錬するに当り、クロム含有銑を生成銑のクロムが0.2%以上、マンガン0.8%以下及燐通常量、硅素通常量又はそれ以上なる如くに他の鉄石と混銑し、この銑を予備精錬して、クロム含有量を0.1%以下に低下せしめ次にこの脱クロム銑を通常の精錬に付する方法。                                 |                 |
| 昭 32-9055 | 銑鉄を酸素で精錬し純鉄を製造する方法<br>ルドルフ・リネシュ(独) 日本鑑管 K.K.   |                 |
|           | 転炉内の溶湯上に酸素を吹送し銑鉄を精錬するに当り、精錬工程の間とくにその終了前において、石灰石もしくは冷態のスラグ等のごとき冷態スラグ形成物質を賦与してスラグの温度を湯の温度以下に保持する方法。  |                 |
| 昭 32-9203 | 含ゲルマニウム鉄鉱石より銑鉄を製造すると同時にゲルマニウム分を回収する方法<br>清廉平外1) 工業技術院長   |                 |
|           | ゲルマニウムを含む鉄鉱石に石膏、芒硝またはその他の金属硫酸化物あるいはその他の硫化物の中4種または2以上を加え、還元気中で加熱焙融し銑鉄を製造すると同時に生成する揮発成分を冷却しゲルマニウム分を回収する方法。   |                 |
| 昭 32-9301 | 可鍛鑄鉄の製造法<br>久保 要) 同 人  |                 |
|           | 加熱密閉容器中で白銑鑄物を900~950°Cに加熱し該温度を維持し器内圧力を一旦大気圧に戻して密閉しこれに水性ガスとKNO <sub>3</sub> との混合ガスを4~10気圧で一定圧を連続的に供給すると共に容器内部の脱炭された混合ガスを排出して新陳代謝せしめこれを数時間継続してその間に常時炉内を前記温度と圧力とで一定に維持せしめその後炉内を密閉して500~650°Cで短時間焼鈍せしめる方法。 |                 |